

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第7号

新指定・新登録文化財の紹介

本年度もこれまでに、国指定史跡「見沼通船堀」の指定範囲の追加と、市指定文化財2件の指定、国登録有形文化財2件の登録が決まりました。これにより、市内の文化財の件数は、国・県・市の指定文化財があわせて454件、国の登録文化財が3件となります。



芝川対岸から見た水神社の社叢



国指定史跡 「見沼通船堀」

大字大間木 平成14年12月19日追加指定

「見沼通船堀」は、昭和57年(1982年)に国の史跡に指定されましたが、今回、通船堀に隣接する「水神社」(すいじんじゃ)の境内などが、史跡の範囲に追加されました。

水神社は、通船堀の南側の芝川沿い、赤山街道の八丁橋のたもとにある神社です。祭神は水の神様として知られる岡象姫命(みずはめのみこと)、創建は、通船堀がつくられた翌年の享保17年(1732年)と伝えられます。舟運の安全を祈願してつくられた神社であると考えられ、本殿の礎石や境内の再建記念碑には、見沼通船の関係者が寄進者として名を連ねています。

通船が行われていた当時、現在の八丁橋辺りには船着場(八丁河岸)があり、芝川筋と代用水筋の通船、街道が接する交通の要衝として賑わっていました。通船差配所もこの地に置かれており、八丁堤の上やその周辺には多くの通船関係者が住んでいました。水神社はこうした人々の信仰を集めていたと見られます。

このようなことから今回、同じく通船関係者の信仰の対象であった「木曾呂の富士塚」(川口市)とともに、見沼通船堀と一体の価値をなすものとして、国指定史跡「見沼通船堀」に追加指定されました。

すいじんじの
水神社

現在の本殿は、それまでの建物が関東大震災で倒壊したため、大正14年(1925年)に復旧されたものです。復旧の際には、倒壊前の部材も多く用いられており、建立当時の姿を忠実に再現しています。礎石には「嘉永六年丑年六月吉祥日 セ話人 船方中 積場中 会所」の銘があり、もとの建物が嘉永6年(1853年)に建てられたこと、普請には通船関係者が深く関わっていたことが読み取れます。現在も毎年6月の例祭日には、氏子が集まって祭事と境内の掃除を行います。

また、境内には、本殿の再建を記念して昭和4年(1929年)に建てられた石碑があります。碑文は船頭かいらの高橋佐平の筆、石工は「八丁石工」のひとり秋元雄太郎です。

追加指定地地図



市指定有形文化財(絵画)

かくしんじ しほんちゃくしよくしゃか ねほんす はっとりしょうきょうひつ
「廓信寺紙本着色 釈迦涅槃図 服部尚匡筆」 一幅

北浦和3-15-22 平成14年8月23日指定

多くの弟子や動物たちに囲まれ、横臥して入滅せんとする釈迦の姿を描いた絵です。多くの例が残る狩野派系統の絵師の作品とは異なる画風を持ち、緑青、群青、金箔、金泥などであざやかな彩色が施されています。宝暦13年(1763年)の箱書銘があり、「尚匡 拝画」の落款から、同時に指定された欄間と同じ、服部尚匡なる絵仏師の作と考えられます。また、市内の長傳寺(本町東5丁目)所蔵の涅槃図に「尚匡 筆」の落款と明和3年(1766年)の箱書があり、これも同じ人物の作品と考えられます。



市指定有形文化財(彫刻)「廓信寺鳳凰文欄間 服部尚匡作」 三面

北浦和3-15-22 平成14年8月23日指定

中央と左右の三面からなる欄間の彫刻です。中央の欄間には大きく鳳凰の浮き彫りを配し、その左右に雲と桐の花葉を透かし彫りしています。左右の欄間には、波頭と巖根、雲を浮き彫りにしています。彫刻部は全体が白・朱・青・緑などで彩色されています。

裏面には「明和二冬十二月(1765年)與野住服部尚匡造之」の墨書銘、表に「施主セカサキ 武笠友次郎」な



などの陰刻銘があります。「尚匡」は、同時に指定となった釈迦涅槃図の作者と同じ人物と考えられ、当時の与野町における絵仏師の居住を裏付けるものといえます。

国登録有形文化財

「^{に き や きゅう こばやしえいぞう け じゅうたく おも や}二木屋(旧小林英三家住宅)母屋」一棟・「^{に き や きゅう こばやしえいぞう け じゅうたく もんおよ へい}二木屋(旧小林英三家住宅)門及び塀」一基

大戸一丁目 平成14年10月18日登録

昭和12年(1937年)頃、海軍少佐の私邸として建てられたのち、昭和19年(1944年)に代議士の小林英三氏が購入し、自宅として使用していた建物です。戦後、応接間や大広間を増築し、平成10年(1998年)には料理店に改装されました。外観内装、また敷地を囲む塀や門も、当時の様子が保たれており、当地が東京郊外の住宅地として開発されたころの邸宅の姿を伝えています。



登録有形文化財制度とは

平成8年(1996年)に、既存の指定文化財制度を補い、建造物を対象としてより多くの文化財を守っていくために作られた国の制度です。指定文化財制度が、強い規制を行って文化財の厳密な維持・保存を目指すのに対し、文化財登録制度では、大規模な増改築や用途の変更も届出のみで行えるなど制約を弱め、所有者が必要に応じて建造物に手を加え、活用しながら残していくことを目的としています。

TOPIC

●「郷土芸能のつどい」開催

12月8日、浦和駅西口のコルソホールにて、「第一回 さいたま市郷土芸能のつどい」を開催しました。演技を披露されたのは、出演順に、浦和木遣保存会、円阿弥万作踊保存会、秋葉ささら獅子舞保存会、日進餅つき踊り保存会、大久保領家の民謡と踊保存会、深作ささら獅子舞保存会、神田囃子連の皆様です。大盛況の中、各団体とも日ごろの練習の成果を大舞台上で見事に披露し、観客の喝采を浴びていました。



●台風21号による文化財の被害(10月1日夜～2日未明)

台風21号による、指定文化財のおもな被害状況は次のとおりです。

- ・「清河寺の大ケヤキ」「満福寺のシラカシ」「宮原の大ケヤキ」枝が落下
- ・「氷川参道の並木」二株が倒壊
- ・「大興寺のヒヨクヒバ」甲株が倒壊

治療の必要がある樹木については、養生などの手当てが行われます。

●文化財写真集を販売しています

文化財保護課では、さいたま市内の指定・登録文化財のうち186件を掲載した写真集「技と巧 息吹と跡」を、500円にて販売しています。文化財保護課(市役所10階)、各市立博物館などでお求めください。

また、市内の指定文化財などを所在地ごとに掲載した「さいたま市文化財マップ」も無料で配布しております。どうぞ御活用ください。



●馬宮郷土史同好会が「文化ともしび賞」を受賞

市内で郷土史の研究を行っている「馬宮郷土史同好会」が、埼玉県が主催する「文化ともしび賞」を受賞し、11月25日に市内で授賞式が行われました。同会は、昭和52年(1977年)の創立以来、研究活動を進めるとともに普及啓発にも力を注いでおり、地域文化祭での発表、教材の作成などの成果を上げています。こうした功績が認められ、今回の受賞となりました。

文化財保護日誌

14. 9. 4 A-50号遺跡(大字御蔵)確認調査
 9. 5 宿宮前遺跡確認調査
 9. 9 曲庭遺跡・芝原北遺跡確認調査
 9. 10 文化財調査(キャラ・氷川女体神社社叢・
 陸神社社叢)
 上木崎足立西遺跡・浄寺坊遺跡確認調査
 9. 11 A-132号遺跡確認調査
 9. 12 大谷場中町遺跡確認調査
 9. 13 矢垂西遺跡確認調査
 9. 17 A-94号遺跡(深作一丁目)確認調査
 9. 18 A-82号遺跡(大字大谷)確認調査
 浄寺坊遺跡発掘調査(～10.11)
 9. 19 太田窪本村遺跡確認調査
 県教育委員会政令市移行事務打合せ
 9. 24 今宮遺跡・松木遺跡・貝崎貝塚確認調査
 札之辻一号遺跡発掘調査(～10.11)
 台耕地稲荷塚古墳囲柵設置工事
 9. 25 文化財調査(南部領辻の獅子舞獅子頭、
 衣装及び道具類)
 駒形南遺跡発掘調査(～12.5)
 大古里南遺跡・水深遺跡・A-58号遺跡
 (大字中川)確認調査
 9. 26 茗花遺跡確認調査
 9. 27 玄蕃新田本田遺跡・御屋敷山遺跡確認調査
 中尾中丸南遺跡発掘調査完了
 文化財指定書交付(14.8.23指定分)
 9. 30 与野宮前遺跡確認調査
 中尾中丸遺跡発掘調査(～12.5)
 10. 1 さいたま市文化財マップ刊行
 10. 2 台風21号による被害状況調査
 細野北遺跡確認調査
 全国史跡整備市町村協議会総会出席
 (～10.4)
 10. 3 上木崎三丁目遺跡・A-201号遺跡(大字
 大谷)確認調査
 大久保領家片町遺跡・櫛谷遺跡発掘調査
 最新出土品展
 (大宮駅西口DOM ～10.8)
 10. 4 文化財調査(氷川参道の並木・大興寺の
 ヒヨクヒバ・清河寺の大ケヤキ・満福寺
 のシラカシ)
 宿宮前遺跡・西浦遺跡確認調査
 10. 6 南部領辻の獅子舞公演(県立民俗文化セ
 ンター)
 10. 8 南中丸遺跡確認調査
 10. 9 真土遺跡確認調査
 10. 10 谷ノ前東遺跡確認調査
 10. 11 台風21号による被害状況調査
 上大久保新田新田遺跡確認調査
 中尾緑島西遺跡発掘調査完了
 榎りぼーと第6号刊行
 10. 14 文化財調査(南部領辻の獅子舞)
 10. 15 鎌倉公園遺跡・松野氏館跡確認調査
 (～10.16)
 10. 16 東宮下原口遺跡発掘調査(～10.25)
 南方遺跡発掘調査
 10. 18 宅地南遺跡確認調査
 国有形文化財新登録(二木屋(旧小林英
 三住宅)母屋・門及び塀)
 10. 21 文化財調査(永田家建造物、小村田氷川
 神社)
 10. 22 南部文化財担当者会会議出席
 文化財調査(下山口巖島神社)
 10. 23 文化財調査(永田家書籍類 ～継続中)
 芝原北遺跡・白幡上ノ台遺跡確認調査
 10. 24 太田窪四丁目遺跡・西浦南遺跡確認調査
 10. 25 篠山遺跡確認調査
 行谷遺跡発掘調査
 10. 27 錦乃原桜草園刈払い
 10. 28 芝原南遺跡確認調査
 不動谷南遺跡発掘調査(～11.29)
 10. 29 大谷場中町遺跡・西谷鴻沼1号遺跡確認
 調査
 不動谷東遺跡発掘調査
 10. 30 中川八幡遺跡・玄蕃新田本田南遺跡・西
 浦南遺跡確認調査
 下野田稲荷原遺跡発掘調査(～11.22)
 東裏西遺跡発掘調査(～12.5)
 10. 31 田島ヶ原サクラソウ自生地刈払い
 (～継続中)
 11. 1 文化財調査(永田家植生及び生態)
 道祖土後原遺跡確認調査
 11. 5 八王子前原遺跡確認調査
 11. 6 茗花遺跡確認調査
 埼玉県文化財保護協会理事会出席
 11. 8 大北遺跡確認調査
 11. 12 国文化財保護行政講座参加(～11.14)
 11. 14 大北遺跡確認調査
 11. 18 鎌倉公園遺跡・松野氏館跡発掘調査
 (～11.29)
 国指定史跡見沼通船堀追加指定答申(水
 神社部分他)
 11. 19 文化財調査(満福寺のシラカシ)
 11. 20 札之辻遺跡確認調査
 11. 21 西谷裏遺跡確認調査

さいたま市文化財時報

榎りぼーと 第7号

平成15年1月27日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

☎336-8633 さいたま市常盤6-4-4

☎048-829-1723